

報道各位

お世話になっております。

今号では、アーカスプロジェクトの6月・7月の事業計画をお知らせいたします。  
各プログラムの詳細につきましては、アーカススタジオまで直接ご連絡ください。

## 1. アーティスト・イン・スクール

平成25年6月17日(月)から約3週間、松ヶ丘小学校の余裕教室を利用して、アーティスト・イン・スクールを開催します。昨年は、郷州小学校にて磯崎道佳(いそざき みちよし)氏により、「笑う机/smile on the desk」を制作しました。今年はアーティストに中島佑太(なかじま ゆうた)氏を迎えます。

- 《日時》 平成25年6月17日(月)～7月5日(金)※土日、6月24日(月)～25日(火)は休み
- 《場所》 守谷市立松ヶ丘小学校 余裕教室 (守谷市松ヶ丘4-12)
- 《参加費》 無料
- 《アーティスト》 中島 佑太(なかじま ゆうた)

### 【アーティスト・イン・スクールとは】

アーティスト・イン・スクールとは、北海道を中心に2003年から行われているプログラムです。アーカスプロジェクトでは昨年度から本事業を実施し、子どもたちにアートに触れる機会を提供しています。アーティスト・イン・スクールでは、約3週間の間、学校の余裕教室をアーティストのアトリエとして使用し、滞在期間中に休み時間・放課後などを利用して、子どもたちや先生・地域にお住まいの方々との交流を図り、その中で作品制作に取り組みます。通常の授業とは異なる形での活動を行うことで、子どもたちの自主性と柔軟な思考力を高めることを目的としています。

### 【アーティストプロフィール】

#### 中島 佑太(なかじま ゆうた)

1985年 群馬県前橋市生まれ。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。3331 Arts Chiyoda プロジェクトリーダー/任意団体 出来事のホームセンター 代表/「1人でやらない」を活動モットーに、音楽家や研究者等とのコラボレーションを展開/主なプロジェクトは、取手市立白山西小学校創立40周年記念のうたづくり、文化保護縫合プロジェクトなど/ブログ <http://houseof.exblog.jp>



中島佑太氏 (撮影: 加藤 甫)

絵画や彫刻、映像などの既存の作品制作の枠にとらわれず、人と人とのコミュニケーションが発生・成立する場所をつくることを作品として発表している。集まった人々で一緒にものごとを考えることから始めるワークショップなど、身近なものを利用して共同作業で何かをつくるなど、対話の中から生まれる想像力を活かした活動を行っている。

### 【プレスリリースに関するお問い合わせ】

アーカススタジオ 広報担当 増記 多佳子(ますき たかこ)  
〒302-0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内  
TEL&FAX: 0297-46-2600 E-mail: [arcus@arcus-project.com](mailto:arcus@arcus-project.com)

Web: [www.arcus-project.com](http://www.arcus-project.com) FB: <http://facebook.com/arcusproject> TW: <http://twitter.com/arcusproject>

【作品参考イメージ】



2012年1月  
冷蔵庫の中で凍ったタオルで彫刻をつくる



2012年11月 群馬県前橋市  
キャンパスの上に絵の具がついた  
手や足で歩いたり滑ったりしてみる



2012年夏「積み木を重ねて空をつくる」  
山形県新庄でのワークショップ  
2012年10月BSフジにて放映



みんなでテーマソングをつくる  
2013年2月 取手市立白山西小  
創立40周年記念の歌「桜、ともに」  
(山下祐加と協同プロジェクト)

## 2. アーティスト・イン・レジデンス

### 【プレスリリースに関するお問い合わせ】

アーカスタジオ 広報担当 増記 多佳子(ますき たかこ)

〒302-0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内

TEL&FAX: 0297-46-2600 E-mail: [arcus@arcus-project.com](mailto:arcus@arcus-project.com)

Web: [www.arcus-project.com](http://www.arcus-project.com) FB: <http://facebook.com/arcusproject> TW: <http://twitter.com/arcusproject>

日本人ゲストキュレーター及び国際審査員／キュレーター招聘プログラムのキュレーターが決定しました。本年度はレジデンス招聘アーティストの選考審査時に、海外からキュレーター1人を招聘し、審査に加わっていただきます。日本人ゲストキュレーターは、堀内奈穂子(ほりうち なおこ)氏に、海外キュレーターは Keith Whittle (キース・ウィットル)氏となりました。

### 【ゲストキュレーターとは】

アーカスプロジェクトの基幹事業であるレジデンスプログラムにおいて、招聘アーティストに専門的見地からのアドバイスを行います。それと同時に、地域住民に対し、招聘アーティストの制作等に関する解説を行うため、専門職であるキュレーターに当該業務を委任しています。

※キュレーター: 展覧会の企画やアーティスト活動の研究を行う専門職

### 【国際審査員／キュレーターとは】

公募によるレジデンスプログラムの審査に関わる国際審査員として、海外からキュレーターを招聘し、アーティストの選定を行います。また、国内の地域アートプログラムに関わる調査を実施し、アーカスプロジェクトの活動に関するレポートを公表します。

### 【キュレータープロフィール】

#### 堀内 奈穂子(ほりうち なおこ)

NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト] キュレーター、アート・コーディネーター／エジンバラ・カレッジ・オブ・アート現代美術論修士課程修了／スコットランド国会議事堂での展覧会や宮永愛子の個展「闇に届けた話」(2007)など、エジンバラにて展覧会を企画／ドクメンタ12マガジズ・プロジェクト「メトロノーム11号-何をなすべきか?東京」でアシスタント及びキュレーターを務める／AITでは、企業とのプロジェクトや、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムの展覧会やアートプロジェクト、トークの企画を行う／教育プログラムMADで、レクチャーのほか、アート・ツアーの企画を担当

#### Keith Whittle (キース・ウィットル)

イギリス生まれ／ロンドン在住／インディペンデント・キュレーター／ロンドンのICA(Institute of Contemporary Arts)のアシスタントキュレーターを務める(2000-2002)／Film and Umbrella のキュレーターを務める(1994-2005)／2005年以降、フリーのキュレーターとしてアジアの現代美術に着目し、様々なアートプロジェクトの企画・運営に関わる／日本のアートシーンとの関わりも深く、2009年には別府プロジェクトがおこなった別府現代美術フェスティバルにアシスタントプロジェクトディレクターとして参加

## 3. 20周年記念シンポジウム

### 【プレスリリースに関するお問い合わせ】

アーカススタジオ 広報担当 増記 多佳子(ますき たかこ)

〒302-0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内

TEL&FAX: 0297-46-2600 E-mail: [arcus@arcus-project.com](mailto:arcus@arcus-project.com)

Web: [www.arcus-project.com](http://www.arcus-project.com) FB: <http://facebook.com/arcusproject> TW: <http://twitter.com/arcusproject>

アーカスプロジェクトは、1994年にプレ事業として開始以来、今年で20年目を迎えます。「芸術・文化による地域振興」を理念に掲げ、アートを活用した地域交流により、多様な文化の形成を図ることを目的として、地域に密着した活動を行ってきました。20周年を記念して「アートプロジェクトは地域のために何ができるのか」をテーマに、地域とアートの関わりについて考えるシンポジウムを開催いたします。

《日時》 平成25年7月7日(日)13:00~17:00

《場所》 つくば国際会議場 中ホール 300 (茨城県つくば市竹園 2-20-3)

《参加費》 無料 ※事前申し込み

《定員》 300名 ※定員になり次第、締め切り

《講演者・パネリスト》 ※敬称略

日比野克彦 | 東京藝術大学教授・アーティスト

山出淳也 | NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事・1996年度アーカス招聘アーティスト

ティファニー・チュン | 2006年度アーカス招聘アーティスト

浅井俊裕 | 水戸芸術館現代美術センター 芸術監督

真島竜男 | 2000年度アーカス招聘アーティスト

綿江彰禅 | 野村総合研究所副主任コンサルタント

菅野幸子 | 国際交流基金プログラムコーディネーター

南條史生 | 森美術館館長・アーカスプロジェクトアドバイザー

### 【アーカスプロジェクトとは】

アーカスプロジェクトは、1994年(※プレ事業含む)から、国際的に活動するアーティストの滞在制作を支援するアーティスト・イン・レジデンスプログラムと、地域の方々に身近にアートを体験する機会を提供するワークショップ等のプログラムを展開しています。アートを通して、国籍や世代を超えた様々な交流の機会を提供し、地域の活性化を目指します。

### 【プレスリリースに関するお問い合わせ】

アーカススタジオ 広報担当 増記 多佳子(ますき たかこ)

〒302-0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内

TEL&FAX: 0297-46-2600 E-mail: [arcus@arcus-project.com](mailto:arcus@arcus-project.com)

Web: [www.arcus-project.com](http://www.arcus-project.com) FB: <http://facebook.com/arcusproject> TW: <http://twitter.com/arcusproject>